

あざ地蔵

あざやいぼで困っている人が、このお地蔵さんをお願いすると、不思議に治るといふ言い伝えがあります。

お地蔵さんの由来については、その昔毘沙門山の開墾の折、土の中から発見され、直ちに智賀都神社の広場に安置されました。その後文化4年（1807）に本陣の入江氏によって、中徳次郎宿の元神宮寺があつ



た場所に移されました。昭和6年（1931）頃、念仏講の人たちの願いによってお堂が改築され、昭和35年（1960）に中町町会によって建物が建て替えられました。その後（当時の）建物は中町公民館に移転され、更に平成6年にこの地に新たなお堂が建てられました。

お地蔵さんは赤味を帯びた石で造られ、座ったお姿をしています。左手に宝珠、右手に錫杖しやくじょうを持ち、仏像の高さは44cmほどです。あざ地蔵のお話は民話にもなっており、今も子どもたちに語り継がれています。



富屋地区まちづくり連絡協議会 令和7年建立